

東北地方 1 か月予報

(1 1 月 2 9 日から 1 2 月 2 8 日までの天候見通し)

平成 1 5 年 1 1 月 2 8 日

仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

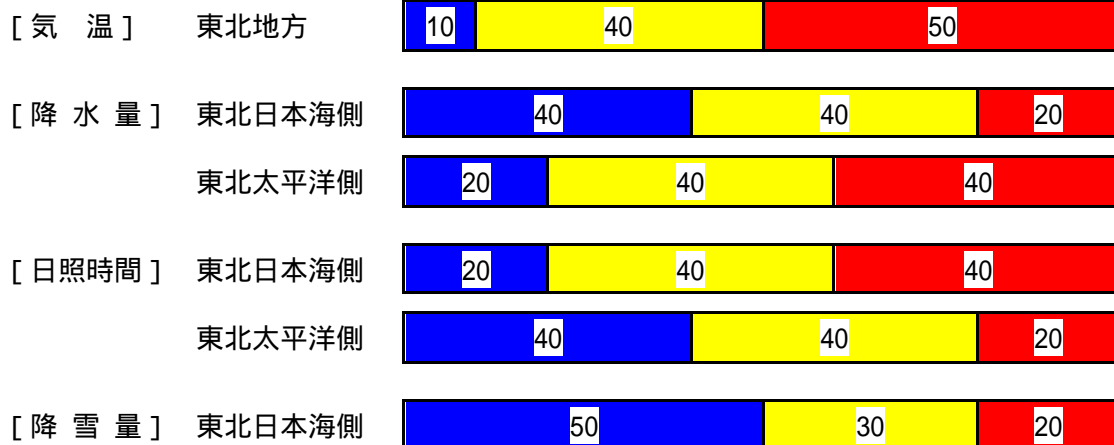
向こう 1 か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

気圧の谷は数日の周期で通過し、通過後一時的に冬型の気圧配置となりますが長続きしないでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温は高い、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は東北日本海側で平年並が多く、東北太平洋側で平年並が少ない、東北日本海側の降雪量は少ないでしょう。

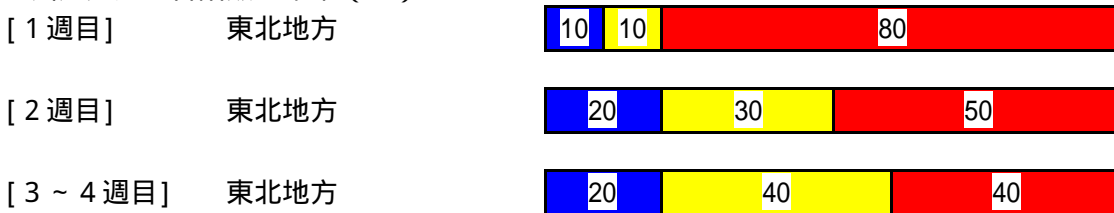
週別の気温は、1 週目、2 週目共に高い、3 ~ 4 週目は平年並か高い見込みです。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



■ 低い (少ない) ■ 平年並 ■ 高い (多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 1 月 2 9 日 (土) ~ 1 2 月 2 8 日 (日)
1 週目 : 1 1 月 2 9 日 (土) ~ 1 2 月 5 日 (金)
2 週目 : 1 2 月 6 日 (土) ~ 1 2 月 1 2 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 1 2 月 1 3 日 (土) ~ 1 2 月 2 6 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 2 月 5 日
3 か月予報 : 1 2 月 2 5 日 (木) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	3.8	41.7	134.6	0	5.4	4.3	2.9
新庄	1.7	205.7	36.7		3.4	2.3	0.8
若松	2.2	81.8	70.3	69	3.8	2.7	1.4
深浦	2.8	127.4	34.4	41	4.4	3.3	1.9
青森	1.6	143.7	54.3	158	3.3	2.2	0.7
むつ	1.5	93.1	72.5		3.2	2.0	0.6
八戸	2.0	40.8	124.4	9	3.6	2.5	1.0
秋田	3.0	162.2	46.9	45	4.7	3.6	2.2
盛岡	1.1	65.3	100.7	38	2.7	1.6	0.2
宮古	3.3	42.2	146.2	0	4.9	3.9	2.4
酒田	4.6	202.4	43.2	28	6.1	5.2	3.8
山形	2.7	78.6	82.1	56	4.3	3.2	1.8
仙台	4.6	28.1	139.4	9	6.2	5.2	3.7
石巻	3.7	27.3	149.0	0	5.3	4.2	2.8
福島	4.5	34.0	126.0	17	6.0	5.0	3.6
白河	3.0	29.3	151.7		4.6	3.6	2.2
小名浜	6.4	40.7	177.3	0	7.8	6.9	5.6

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	80～ 102	97～ 103	61～ 110
東北日本海側	-0.4～+0.5	92～ 107	91～ 107	70～ 114
東北太平洋側	-0.3～+0.5	67～ 106	98～ 104	50～ 112

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7～+0.7	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6
東北日本海側	-0.8～+0.7	-0.6～+0.7	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.7～+0.7	-0.6～+0.6	-0.4～+0.7

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率（階級の定義から各階級とも同じで 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 15 年 11 月 28 日 仙台管区気象台

1．実現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月(11 月 29 日～12 月 28 日)：

気圧の谷は数日の周期で通過し、通過後一時的に冬型の気圧配置となりますが長続きしないでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

1 週目(11 月 29 日～12 月 5 日)：

期間の初めは気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、その後は高気圧に覆われ概ね晴れるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2 週目(12 月 6 日～12 月 12 日)：

気圧の谷は数日の周期で通過するでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3～4 週目(12 月 13 日～12 月 26 日)：

気圧の谷は数日の周期で通過し、通過後一時的に冬型の気圧配置となりますが長続きしないでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

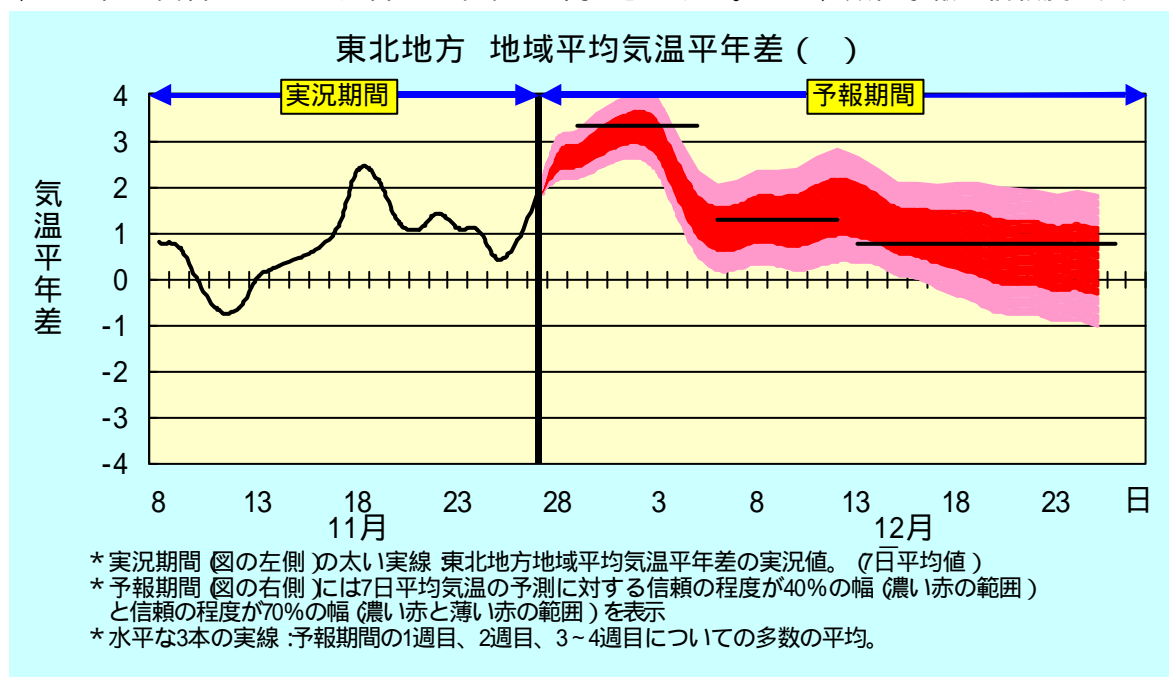
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	4.8 日	1.4 日	1.1 日	2.3 日
東北太平洋側	16.8 日	4.2 日	4.0 日	8.6 日

2．東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目とも「高い」と予測している。予報は、その他の資料から 3～4 週目を「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

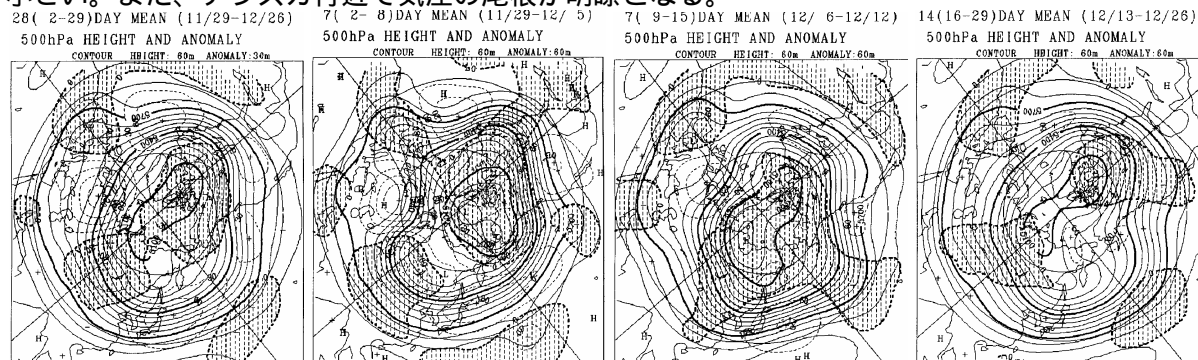


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は強い正偏差、東経 90 度付近は広く負偏差に覆われる。偏西風の流れは順調で、気圧の谷は数日の周期で通過し、冬型の気圧配置は長続きしない見込み。

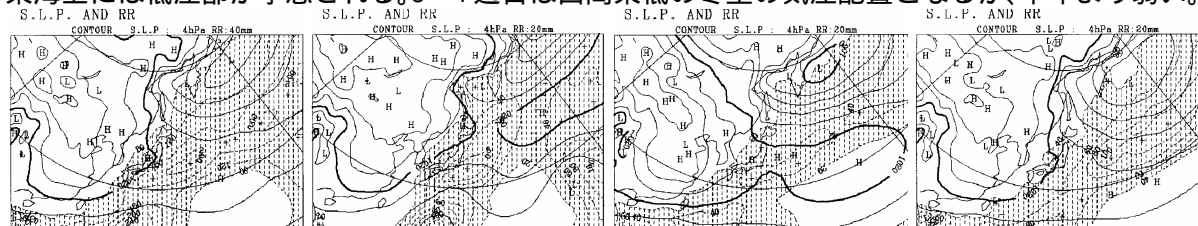
週別に見ると、1 週目は月平均と同様。2 週目も日本付近は引き続き正偏差に覆われるが、負偏差域は大陸や高緯度に広がる。3～4 週目、日本付近の偏差パターンは月平均と同様だが、偏差は小さい。また、アラスカ付近で気圧の尾根が明瞭となる。



地上気圧と降水量：

月平均では、アリューシャン低気圧、大陸の高気圧共に平年より弱く、冬型の気圧配置は弱い見込み。まとまった降水域は日本の南岸にかかる。

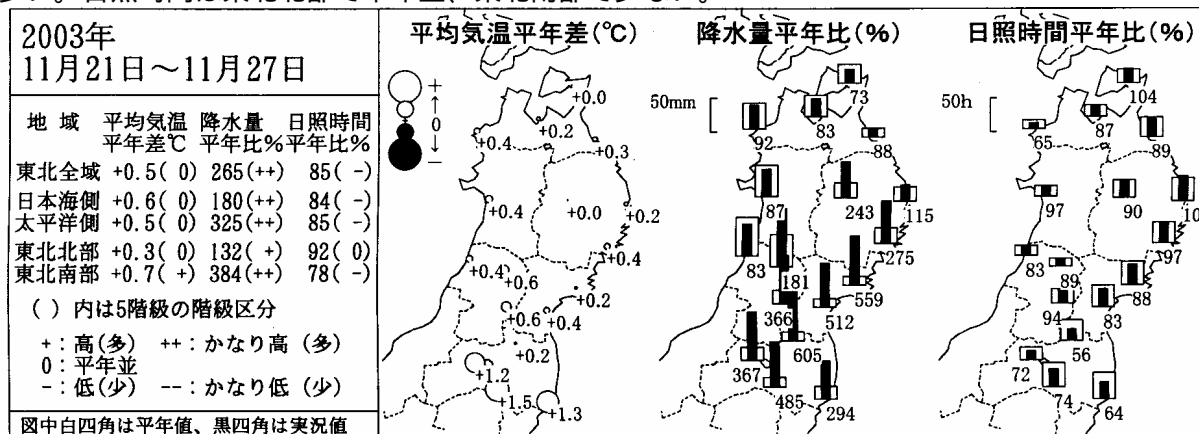
週別に見ると、1 週目日本付近は気圧の谷場で、広く降水域に覆われる。日本の南には台風に伴うまとまった降水域。2 週目は、大陸から本州、日本の東海上が高気圧に覆われるが、関東南東海上には低圧部が予想される。3～4 週目は西高東低の冬型の気圧配置となるが、平年より弱い。



4．最近 1 週間（11 月 21 日～11 月 27 日）の天候の経過

この期間、気圧の谷は21日と25日に通過し、東北地方は雨となった。22～23日はオホーツク海に進んだ低気圧が発達したため、日本付近は強い冬型の気圧配置となり、東北日本海側や東北北部では雪や雨となった。その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れた。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で多い、東北南部でかなり多い。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

5 . 2003 年季節現象の初日や初冠雪

2003年（平成15年） 季節現象（初日）

官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.11	10.23	10.24	11.11	10.29	11. 9	11.22	11. 7	11. 2
深浦	11.24	11.17	11.30	11.24	11.19	11. 9	11.22	11.10	11. 2
八戸	11.11	10.27	11. 4	11.14	11. 2	11. 4	11.22	11.11	11. 9
秋田	10.27	11. 6	11.16	11.24	11.13	11.10	11.22	11.12	11. 2
盛岡	10.27	10.18	11. 4	10.27	10.24	11. 4	11.22	11. 8	10.28
宮古	10.27	10.31	11. 5	11.15	11. 5	11. 6	11.22	11.16	11. 9
大船渡	10.27	11. 5	10.31	11.23	11.11	11. 6	11.22	11.18	11. 9
酒田	11.19	11.12	11.16	11.24	11.20	11.16	11.22	11.17	11. 2
山形	10.27	10.24	11. 7	10.27	10.29	11. 7	11.23	11.16	11. 5
仙台	11.15	11. 6	11. 7	11.24	11.16	11. 7		11.22	11. 9
福島	11.15	11. 6	11. 7	11.15	11.11	11. 7		11.24	11. 9
若松	11. 5	10.28	11.17	11.18	11. 6	11.17	11.22	11.17	10.28
小名浜		11.11	11. 5		11.19	11. 7		12.13	11. 9

初冠雪

山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
八甲田山	1584	10. 5	10.16	10.22	朝日岳	1870	10.17	10.19	10.29
岩木山	1625	10. 5	10.15	10.24	雁戸山	1485	10.24	10.28	10.29
階上岳	740		11.12	11. 9	滝山	1362	10.24	10.30	10.28
太平山	1170	11.23	10.31	10.28	泉ヶ岳	1175	11.17	11. 6	10.29
岩手山	2038	10. 5	10.13	10.22	蔵王山	1841	10.24	10.23	10.29
五葉山	1351	11.23	11. 7	10.29	吾妻山	1949	10.24	10.21	10.28
鳥海山	2236	10. 5	10. 9	10.11	飯豊山	2105	10. 4	10.17	10.26
月山	1984	10.17	10.15	10.25	磐梯山	1819	10.24	10.24	10.28

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。